

戦争？いいえ、ずっと前から、パレスチナでは
非人道的な地獄のような日常が続いています。

しかしそんな中で、私たちと変わらない日常を暮らしている人々がいます。
マスメディアでは伝えられない本当のパレスチナの現状を観に来ませんか？



パレスチナ ガザの 写真家たち の 写真展

【日時】 12月16日(土) 12時～17時
12月21日(木) 10時～15時

【入場料】 無料

(パレスチナの浄水器設置の募金にご協力ください)

【会場】 エコストアパパラギ2F
(神奈川県藤沢市鵜沼石上1-3-6)

【お問い合わせ】

●080-4074-3818 (後藤さや香)
sayaka_g@taosangha.com

●0466-50-0117 (エコストアパパラギ)
fujisawa@eco-papa.com

～知ってますか？

パレスチナの真実～

- パレスチナは「戦争」状態ではなく、何十年もイスラエルによる「占領」状態が続いている。
- 日中屋上にいた子供たちがスナイパーにより頭を一発で撃ち抜かれて即死（非武装の子どもと認識できていて撃った）。
- ガザ地区はイスラエルによって井戸堀りが禁止され、水道水は劣悪に汚染されている。etc...



主催 NPO法人アースキャラバン <http://www.earth-caravan.com>
NPO法人気候危機対策ネットワーク (会員募集中！)
<https://kikoukiki.org/>
共催 エコストアパパラギ <http://ecostorepapalagi.com>

水の危機、死にかけているガザ

ガザ在住のアハメッド医師からの手紙 2017年9月1日

(医師は2018年にお亡くなりになり、現在は娘さんが意思を引き継いで活動されています)

いつか爆発して死ぬ「時限爆弾」のようなもの
市民は、地球上で最も人口過密なガザ地区に、まるで牢獄のように閉じ込められています。迫り来る水と電力の不足は、ガザ市民にとって、いつか爆発して死ぬ「時限爆弾」のようなものです。

200万人のガザ市民は生存できるのか？
50年に及ぶイスラエルによるパレスチナの占領、このため、ガザ地区がたった一杯の安全な飲み水の枯渇から逃れたのは、ほんの数ヶ月に過ぎません。イスラエル軍による一般パレスチナ市民への暴力は、エスカレートする一方です。ガザには安全な飲み水がなくなっています。腎臓病が多く報告されていますし、いつ疫病が大流行してもおかしくありません。
実はガザの水危機は、自然災害ではありません。技術的な問題でもありません。イスラエル占領軍がパレスチナに深い井戸を掘らせないという、政治的な力による人災なのです。
ガザの問題は、政治的な詭弁によって、あなたもイスラエルパレスチナの紛争が原因であるかのように見せかけられています。人々は、イスラエル軍による、丸腰の市民への武力攻撃や頻繁な暴力だけに目を向けがちです。
しかしこれによって、人間が生存を維持するために必要な問題が隠れてしまうことがあるのです。水と電気は、ガザ市民全員の生存に直結しています。
これは、軍事的占領において行われる日常的な銃の射撃、また一般民家に対して定期的に落とされる爆弾よりも、人々にとって深刻な脅威となるのです。

道路、住宅地、家屋、農地を、未処理の下水が氾濫しています。ガザ市民の病気の蔓延という恐れが、現実のものとなりつつあります。
イスラエルは高さ8メートルの壁でガザを取り囲み、誰も自由に入りにくい牢獄にしています。しかし汚水や病原菌は、その壁すら越えてイスラエルにまで及んでいくことになるかも知れません。
貧困家庭は収入の3分の1が飲料水の購入費に！
ガザの水危機は、ここ10年以上、悪化の一途を辿って来ました。現在、パレスチナ自治体の水道は、電力不足により頻繁に断水するだけでなく、塩分が多すぎて、とても飲めたものではありません。(ガザ市民はこの水を「塩水」と呼んでいます)
地下水も塩分濃度が高いので、多くの農家は伝統的な作物である、イチゴ、キュウリ、トマトなどを諦めて、耐塩性の作物を作らなければなりません。現在、水は公衆衛生上、あり得ない高レベルの硝酸塩と、味の悪い汚染物質を含んでいます。このため自治体が供給する飲料水は、家事や身体を洗うことにのみ使われています。しかしそれでも、しばしば皮膚疾患や他の伝染病を引き起こします。ガザ市民は、やむを得ず、脱塩プラントから水を運ぶ民間業者から飲み水を手に入れています。しかし貧困家庭だと、飲み水に収入の3分の1を水の購入費に当てなければならぬのです。

(以下、続きあり。引用ここまで)

イスラエル人平和活動家からのメッセージ (抜粋)

- 2022年、イスラエルの財務大臣は、パレスチナの町ハワラを皆殺しにするように言い放ちました。
- 想像してください。
あなたの住んでいる家に突然強盗が押し入り、家を破壊し、暴力をふるっています。しかしあなたを守るべき警察が、犯罪者を逮捕すべき警察が、逆に強盗を警護しています。
あなたがその犯罪行為を止めようとして、強盗が何らかの被害を受けた場合は、あなたは不当な裁判にかけられて、重い罪を背負わされるのです。
パレスチナでは、それが毎日、起きているのです。

～以上、NPOアースキャラバンHPより転載～

会場の地図はこちらです

